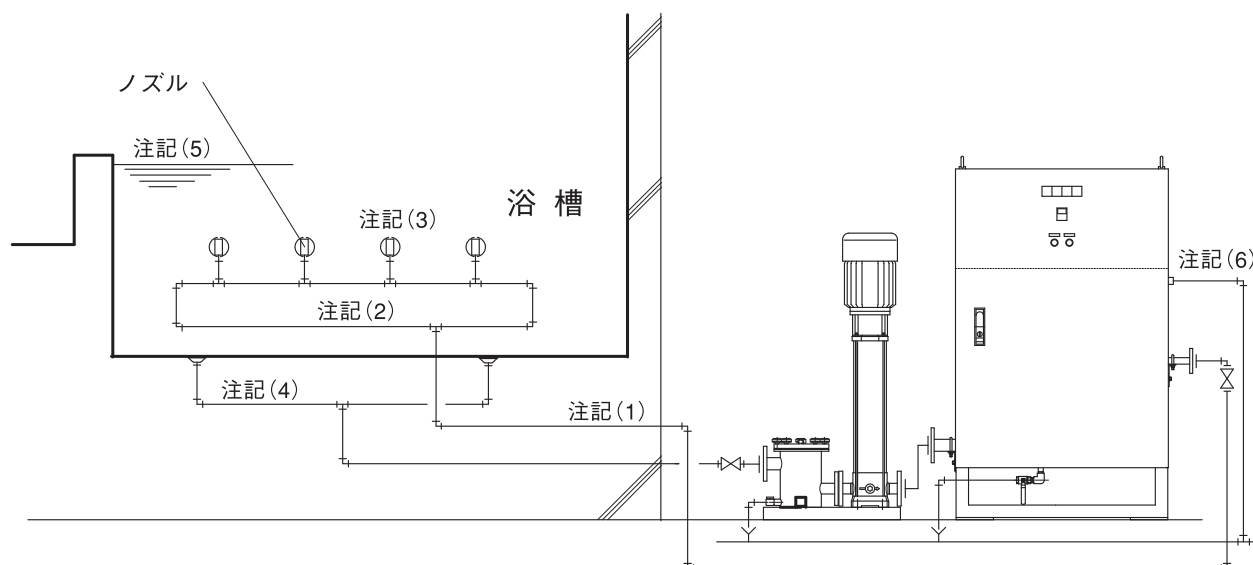




ミクロンバブルバス

施工・取扱説明書

ミクロンバブルバスシステム 配管系統図



注記(1) 装置から浴槽まで管内の循環水は空気を飽和点まで溶解した状態です。途中空気溜まりとなる箇所があるとその場所で徐々に発泡し蓄積して拡大した気泡となって浴槽の微細気泡に影響を与えます。
配管は必ず横引きと上向きで延長して下さい。また分岐する場合も取り出し口を上向きにして下さい。
やむを得ない場合は、要所に自動空気抜き弁を設置して下さい。
装置直近のバルブ以外、吐出側には弁類を設けないで下さい。配管の延長距離は30m以内を目安にして下さい。

注記(2) 複数個のノズルを付ける場合は、ループ配管を行って下さい。

注記(3) ノズルの取り付け高さは、浴槽壁面の水深400mm程度にして下さい。

注記(4) ろ過やミクロンバブルの吸い込み口は、ノズルと距離を置いて下さい。

注記(5) 微細気泡の上昇と共に浴槽内の汚れが水面に浮き上がる場合がありますので新鮮水を定期的に補給し、溢れさせる強制オーバーフロー回路を補給水回路に持たせて下さい。

注記(6) 装置から連続的に少量の空気混入排水が出ますので、排水管に直結して下さい。

※注記：ろ過の吹き出しがきつかったり循環水量が多いところでは、一部白濁が薄くなる箇所があります。

※注記：吸い込み金具は、必ず2ヶ以上必要です。